

社会教育委員長研修会報告

7月6・7日開催

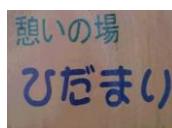
北海道社会教育委員長等研修会

7月6、7日の2日間札幌市で開催された北海道社会教育委員長等研修会に出席、全道から集まった約190名の委員長、教育委員会関係者と一緒に研修してきました。

1日目は、愛媛県双海町出身、人間牧場主・年輪塾々長 若松進一氏による「人と人とのつながりを生かした地域づくり」の講演がありました。2時間休むことのない熱いトークとアイディア満載の内容に圧倒されました。特に、若松氏のふるさと双海町を、「日本一夕日のきれいな町」として夕焼けプラットホーム・コンサート、夕日のミュージアムなどを全国的に有名にしました。今でも多くの観光客が双海町を訪れるそうです。自分の住んでいる町が好きだからと言う想いが人と人とのつながりを深め、町おこしの原点となり、それが若松氏の提唱する、「ふるさと教育」につながっているようです。何でも良いので、「日本一」を自分の町に見つけ一歩前に、もっと前に、更に前にと進む実践力を身につけることが大事という考えは、ある意味若い人は暑苦しい意見かなとも思うのですが、我々世代には十分興味深いものでした。

2日目は4～5人の小グループに分かれてのグループ討議、人と人とのつながりを生かした取り組みを紹介し合い他市町村との情報交換を行いました。私は今年3月に開催した“ポットラック家庭料理の集い”や高知県越知町との交流事業を紹介。更に地域おこし協力隊の福永さんが文化センターロビーにおいている『憩いの場 ひだまり』の取り組みも紹介しました。若い人の目線でプログラムを企画し実践している彼女の活動は今までにない新鮮なもの、文字通り滝上町民の憩いの場になっています。どの市町村も、少子高齢化、人口減少が共通の悩み、社会教育事業でも若者対象のプログラムがどうしても停滞するとの意見が多く聞かれました。現代はネットを通して情報を共有し、人とのつながりも昔と大きく様変わりしています。時代にあった生き方もなかなかハードルが高い、そんな思いにも駆られながら2日間の研修を無事終了しました。

情報提供コーナー①
「地域おこし協力隊
からのお知らせ」



ひだまりだより

地域おこし協力隊 福永 彩香

『憩いの場 ひだまり』は、町民同士の交流の場や、町民の方々が日頃思っている想いや、考えを発言しやすい場にしたいという思いで、今年の5月1日に文化センター1階ロビーにオープンしました。一杯50円で、コーヒー、紅茶、ジュースなどをセルフサービスで提供しています。

毎月一回、イベントも実施しています。このイベントは、町民の方々が持っている知識や技術をお借りして、町民が先生となって教えるやり方で、町民さんの知恵袋シリーズとして毎月講座を開いています。9月の町民さんの知恵袋シリーズは、消しゴムはんこづくりです。今回は文化センターではなく、ふるさとまつりに、『憩いの場 ひだまり』のブースを設け、お祭り会場で開催予定です。

その他にも、7月から「楽トレ教室」を開いており、週一回、1時間程度で、運動不足な方も気軽にできる内容で運動もやっています。詳細は、回覧板や、憩いの場ひだまりにチラシを置いてるのでご覧ください。

『憩いの場 ひだまり』をより良い場所にしていくために、町民から頂いたアイディアを活かして、実行に移しているので、今後も色々な意見を取り入れて活用ていきたいと思います。

